

新商品開発支援申請書

令和6年5月10日

公益財団法人仙台市産業振興事業団 理事長 殿

(申請者)

郵便番号・所在地 〒 980-6107

仙台市青葉区中央 1-3-1AER7 階

法人名・事業所名 株式会社仙台市産業

代表者役職・氏名 代表取締役 仙台 太郎 印

新商品開発支援に関係書類を添えて申請いたします。なお、申請にあたり、下記の内容に同意します。

記

1. 自ら課題の解決を図り、商品の高付加価値化による経営の向上を目指すこと。
2. 支援に対して、代表者又は担当者の最低1名が専任で対応すること。
3. 経営状況の資料等、定期的な提出とヒアリングに協力すること。
4. 支援実施中に天災などの事情及び採択者の倒産等のやむを得ない特別な事情に対し、(公財)仙台市産業振興事業団の判断により、当該事業の中止またはその指示に従うこと。
5. 支援実施中及び支援終了後、(公財)仙台市産業振興事業団の支援成果として公表することに承諾すること。
6. 支援終了後、現地調査、ヒアリング、経営状況の資料の提出等に協力すること。
7. 支援実施中の助言等によって生じたいかなる損害についても、(公財)仙台市産業振興事業団にその責を問わないこと。
8. 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第1項第2号の規定されるもの)又は暴力団の構成員、暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者が経営、運営に関係していないことを誓約すること。なお、説明を求められた際には誠実に対応すること。
9. 事業団が定めるセミナーに参加すること。
 - ①キックオフミーティング 令和6年6月3日(月)9時30分～15時
 - ②新商品/新サービス開発セミナー 令和6年6月24日(月)13時30分～15時
 - ③リアルマーケットリサーチ 先進地視察 令和6年6月中旬～下旬予定(任意)

【関係書類】

- (1) 市税の滞納がないことの証明書(写し)
- (2) 直近3期分の決算報告書一式の写し(個人の場合は青色申告書の写し)
※一期に満たない場合は月次試算表等の書類をご提出ください。
- (3) その他、理事長が必要と認める資料

申請書（新商品開発用）

※欄が足りない場合は適宜、行数・ページ数を追加して下さい。

I. 申請者（企業等）の概況について

◆全ての欄が必須記入です。			
ふりがな 名称（商号または屋号）	かぶしきがいしゃせんだいしさんぎょう 株式会社仙台市産業		
代表者役職・氏名	代表取締役 仙台 太郎		
業種・業態	食品製造業	従業員数※1	15人（うち正社員5人）
資本金額 （個人事業者は記載不要）	1,000万円	創業年月日 （和暦）	平成8年11月8日
連絡 担当者 ※2	ふりがな 氏名	せんだい はなこ 仙台 花子	役職 商品開発部長
	住所	（〒 980-6107 ） 仙台市青葉区中央 1-3-1AER7 階	
	電話番号	022-724-1122	
	E-mail アドレス	hanro@siip.city.sendai.jp	
取扱商品・サービス	せんべい	売上割合	50%
	ずんだ餅		35%
	団子 他		15%
※1 パート・アルバイトを含みます。			
※2 仙台市産業振興事業団からの書類の送付や連絡は、全て「連絡担当者」宛てに行います。申請内容や実績報告等について、説明できる方を記載して下さい。			

II. 申請対象商品について

◆未定の事項がある場合は現時点の想定でご記載下さい。	
1. 商品の名称	濃厚バター風味ずんだ餅
2. 商品の詳細	
【想定発売時期】	令和6年11月頃
【現状の試作・開発状況】	
構想段階	・ 試作着手段階 ・ 試作完了段階 ・ その他（ ）
【試作・開発状況に関する補足説明】	現在、添加するバターの分量について3種類（多め、普通、少なめ）を試作して検討中。
【想定価格】	800円（税抜）
【原材料（産地）】	もち米（宮城県産）、枝豆（大豆・宮城県産）、砂糖、バター、食塩
【内容量・規格（サイズ）】	200g・4個入り
【賞味期限・消費期限※食品のみ】	賞味期限 製造日を含め60日間
【保存方法】	常温 ・ 冷蔵 ・ 冷凍

【製造方法】 自社製造 ・ **他社への製造委託** ・ その他 ()

【製造委託先等の名称及び住所※自社製造以外の場合のみ】

事業内容によって許可・免許を取得する必要がありますので必ずご確認下さい。

(名称) **仙台振興事業株式会社** (住所) **仙台市若林区卸町〇-〇-〇**

【許認可等 ※自社製造・委託先とも記載 ※許認可等が不要な業種は記載不要】

(名称) **菓子製造業 (委託先)**

(取得年月日) **平成 15 年 9 月 3 日**

【年間売上目標】 **2,880 万円**

(上記の内訳) 単価 **480 円** × 数量 **60,000 個**

【年間粗利目標】 **1,152 万円**

3. 商品のターゲットとその設定理由

※商品の想定消費者についてご記載下さい。

ターゲット：**全国の和菓子をお取り寄せして楽しむ東京都内在住の既婚 40 代女性**

設定理由：**お家でも美味しい食事をしたいというニーズを狙うため**

4. 商品の販路とその設定理由

※商品の想定販路についてご記載下さい。

販路：**大手百貨店 E C サイト**

設定理由：**素材にこだわった高品質な商品であり百貨店の客層にマッチするが、保存方法が冷凍であり店頭での取り扱いが難しいため**

5. 商品のセールスポイント

※商品の新規性や市場性、実現可能性などについてご記載下さい。

(新規性)

当社が誇るずんだ餅にバターを加えた全国初の商品。ずんだ餡の枝豆の風味にバターの香りとコク、塩味が加わったリッチな味が楽しめる。解凍してもずんだ餡が水っぽくならない製法を特許として保持しており、他社で真似できない商品となっている。

(市場性)

ずんだ風味はここ数年首都圏など宮城県以外にも広がっており、定着しつつある。また、濃厚なバター風味はトレンドとなっており、首都圏などの感度の高い消費者にニーズがあると考えている。

(実現可能性)

前述の通り、製法については特許を保有している既存商品をベースにした商品であるため、開発実現について大きな支障は無い。また、量産については製造委託先と調整しており、製造ロットや単価などについて大筋で合意している。

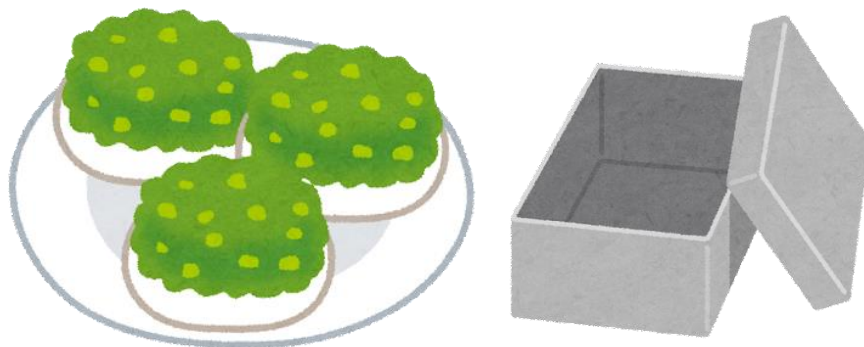
6. 商品の写真

※試作品やイメージイラストでも可

※複数枚の写真貼付可

(商品の中身)

(パッケージのイメージ)



7. 仙台市の地域経済への波及効果

ずんだ餡に使用される枝豆（大豆）は仙台市内の契約農家から仕入れを行っているため、本商品の売上が向上すると農家の所得向上などに繋がる。また、製造委託先を含め、従業員の多くは仙台市内に在住しているため、増産に伴う雇用の増加も見込める。さらに、仙台銘菓ずんだ餅の新商品であるため、仙台の都市ブランドの周知にも繋がり、観光業への波及効果なども考えられる。

III. 申請者の財務・経営状況について

◆添付書類の決算報告書(個人の場合は青色申告決算書)の内容に関して、自社で認識・分析している財務・経営状況や今後の見通しについてご記載下さい。

1. 現在の財務・経営状況について

※財務状況の要因分析や売上計画の達成度等についてご記載下さい。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で直近期の決算では、1.5億円の売上計画に対し実績が約1.2億円と3,000万円ほど下回り、営業利益はマイナスとなった。一方、各種の支援金などにより当期純損失は約500万円に抑えられた。

また、資金繰りのため金融機関からの借入れが増えたことから、自己資本比率が下がっているが、同業社の指標と比較すると高い水準を維持している。

以上のことから、本支援を実施するにあたり、財政上の問題は生じていない。

2. 今後の財務・経営状況の見通しについて

※将来的な財務状況の予測や資金繰りの見込み、資金調達計画等についてご記載下さい。なお、直近3期とも営業赤字の場合や、直近期において債務超過の場合など、財務状況が悪化している場合は改善計画等についてもご記載下さい。

前期を踏まえ、今期の売上計画を1.4億円と定めている。これを達成するためには本支援で開発を行う新商品による売上高の増加が必要不可欠である。計画上の純利益の目標は1,000万円となっており、これにより前期に悪化した財政状況を回復させる予定である。

また、前期に行った借入により手元資金には余裕があるため、資金繰りについては問題がなく、今期に新たに資金調達を行う計画は無い。

IV. 希望する支援内容について

◆支援チームに参加する専門家のご希望や支援を受けたい内容についてご記載下さい。

◆予算やスケジュールの都合上、ご希望に沿えない場合がありますのでご了承下さい。

1. 商品開発における現状分析や課題

これまで当社では仙台地域のみやげ品メーカーとして、みやげ売場や地元百貨店などを主要販路としていた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観光客が激減したことにより地場の販路が縮小したため、首都圏などへの販路開拓を強化したいと考えている。そのため、新商品は既存商品と違う販路やターゲットとなるため、これまでと違ったマーケティング戦略の構築が課題となる。

2. 課題解決のための専門家の想定や支援を受けたい内容

(専門家の想定)

消費者リサーチに精通した専門家やパッケージデザインの専門家

(支援を受けたい内容)

想定する販路先やターゲットに合わせた商品開発を行いたいと考えているため、首都圏の消費者に新商品のニーズがあるか調査したい。また、既存商品のパッケージは伝統的なイメージのデザインであるため、新商品ではトレンドを取り入れたデザインに一新したい。

以上のような形で新商品開発を進めるにあたって、自社での知識や経験が不足しているため、専門家からの助言が得られるよう支援を受けたい。

※記載例は架空のものであり、実在の人物や会社、商品、サービス等とは一切無関係です。